

STEP
1

A～Gの中から、
作るポーチの形を決め、
材料を準備する

A [B] は、ポケットの有無についても決める
* 説明書3面(2枚目・表)
STEP5「ABCの作り方」参照

STEP
2

表布に接着芯を貼る

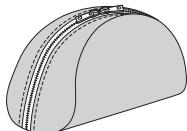
* E [G] は裏布にも貼る

表布の裏面と接着芯の接着面を合わせ、
上から押さえるようにアイロンをあてる。
(ドライ・約10秒)

★接着芯に霧吹きをする
と、熱が伝わりやすく、
接着しやすくなります



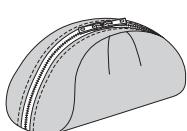
A スタンダード



タテ ヨコ マチ
10×17×8cm

ポーチのカタチ

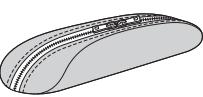
B タック付



タテ ヨコ マチ
7.5×17×8cm

* イラストは両開きファスナーを使用した例

C ロング



タテ ヨコ マチ
4×21×8cm

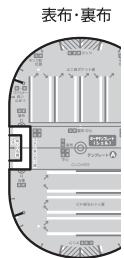
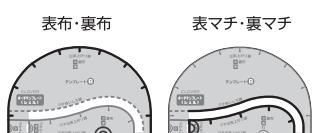
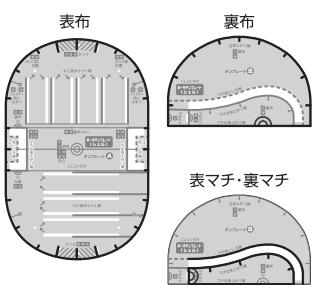
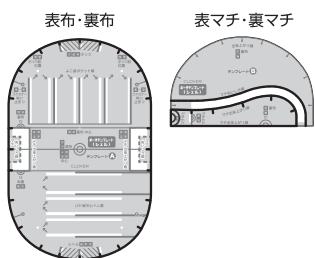
* イラストは両開きファスナーを使用した例

D シングル

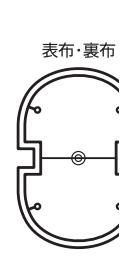
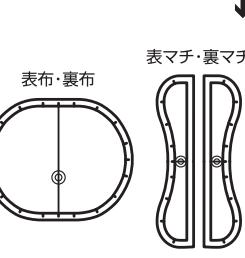
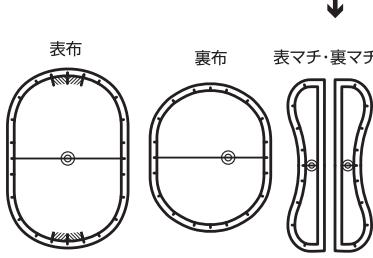
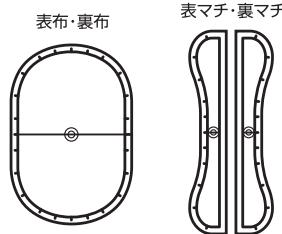


タテ ヨコ マチ
10×16×5cm

テンプレートの使用箇所



型
(パターン)



材

- 表布
- 表布用接着芯
- 裏布
- 表マチ
- 表マチ用接着芯
- 裏マチ
- よこ長ポケット
- たて長ポケット
- ファスナー

各 30×21cm
各 25×21cm
各 29×8cm
2枚
2枚
7.5×25cm
11×20cm
30cm
(両開きタイプがおすすめ)

- 表布
- 表布用接着芯
- 裏布
- 表マチ
- 表マチ用接着芯
- 裏マチ
- よこ長ポケット
- たて長ポケット
- ファスナー

各 30×21cm
各 25×21cm
各 29×8cm
2枚
2枚
7.5×25cm
11×20cm
25cm
(両開きタイプがおすすめ)

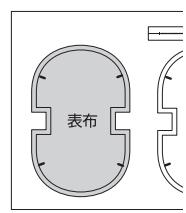
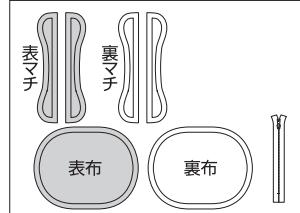
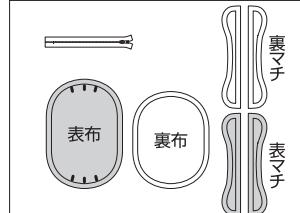
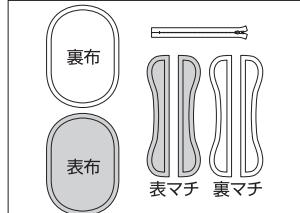
- 表布
- 表布用接着芯
- 裏布
- 表マチ
- 表マチ用接着芯
- 裏マチ
- ファスナー

各 21×25cm
各 29×8cm
2枚
2枚
25cm
(両開きタイプがおすすめ)

- 表布
- 表布用接着芯
- 裏布
- ファスナー

各 21×25cm
各 29×8cm
2枚
2枚
25cm
(両開きタイプがおすすめ)

料



*ポケットは省略

*ポケットは省略

クロバー株式会社

ポーチテンプレート シェル 作り方説明書 1面 / 左

サイズの大きい説明書は2枚にわけています。もう1枚の
印と合わせてお使い下さい。

TEMPLATE SHELL

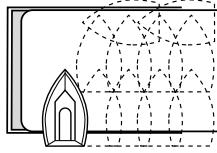
※この説明書は、製品とともに保管し、ご使用の際にはよくお読みください。

1 SHELL



布または
コンベーパーか
ロン紙

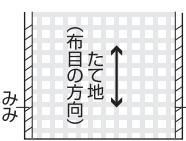
アイロンはすべら
せずに持ち上げ、
すき間をあけない
ように移動させな
がらあてる。



※アイロンの温度は、
布地や接着芯の適
正温度に準じて設
定してください

● 布目の方向 ●

みみ（布幅の両端）を
左右に見て、縦の方向
をたて地と言い、布目
の方向になります。



たて地は伸びにくい
性質があるので、布
目を通すと、型くずれ
しにくくなります。
★柄生地の場合、見せたい柄
の方向に合わせて、布地を
裁断してもかまいません

D シングル



タテ ヨコ マチ
10×16×5cm

E ダブル



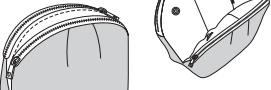
タテ ヨコ マチ
10×16×5cm

F タック付シングル



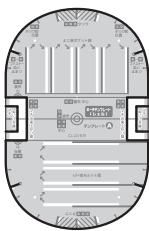
タテ ヨコ マチ
8.5×12×5cm

G タック付ダブル

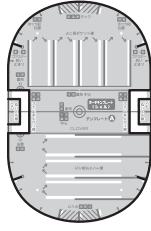


タテ ヨコ マチ
8.5×12×5cm

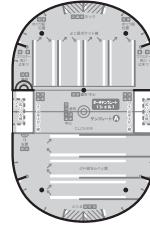
表布・裏布



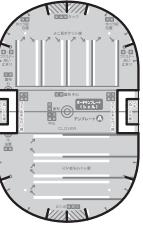
表布



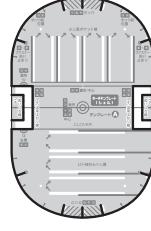
裏布



表布・裏布



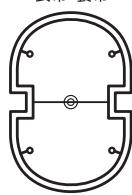
表布



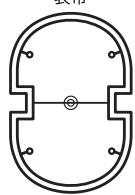
裏布



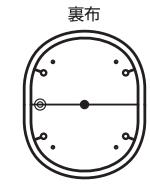
表布



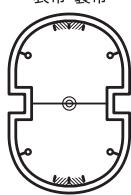
表布



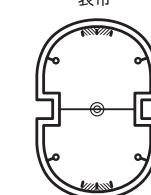
裏布



表布・裏布



表布



裏布

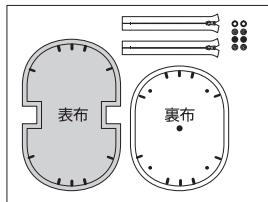
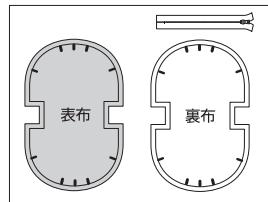
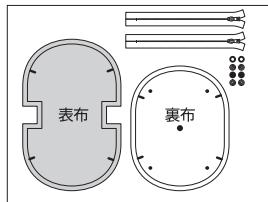
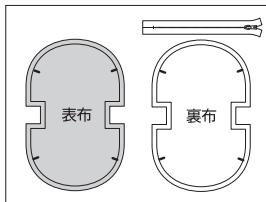


表布
表布用接着芯
裏布
ファスナー 20cm

●表布
●表布用接着芯
●裏布
●裏布用接着芯
●ファスナー
●ホック釦

●表布
●表布用接着芯
●裏布
●裏布用接着芯
●ファスナー 15cm
●ホック釦

●表布
●表布用接着芯
●裏布
●裏布用接着芯
●ファスナー 15cm 2本
●ホック釦 2組



※布地の用尺には実際に使用する大きさの四方に1cmの余尺を設けています。

100702

ポーチテンプレート シェル 作り方説明書 1面 / 右

サイズの大きい説明書は2枚にわけています。もう1枚の · 印と合わせてお使い下さい。

**STEP
3**

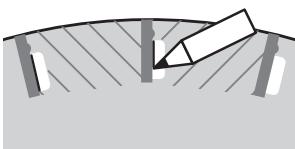
選んだポーチの
「テンプレートの使用箇所」
に沿って印つけをする

**STEP
4**

縫いしろ線に沿って
布地を裁断する

●溝の印つけ

○溝の印がついている側を
なぞる。



×印がない側
をなぞる。



×溝の中心に
印をつける。



×溝全体に
印をつける。

●丸穴の印つけ

中心に印を
つける。



●合印の印つけ

延長線上に
印をつける。



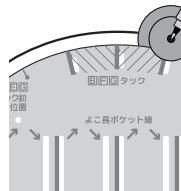
縫いしろの描き方

クロバー「水性チャコペン」「布用
シャーペンシル」などのペン先を
入れ、テンプレートに沿って転がす
ように縫いしろを描く。

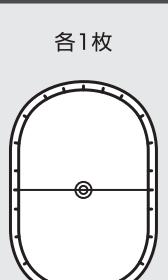


ぬいしろ
ライナー

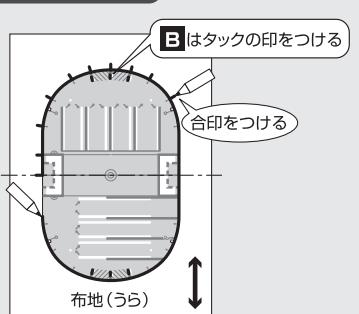
側面の溝にテンプレートをはさむ。

**A** 表布・裏布**B** 表布

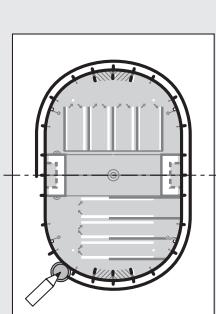
テンプレートAを使用



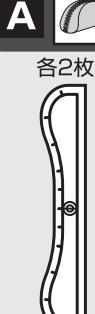
※表布には接着芯を
貼っておきます



1.テンプレートAの縁に沿って出来上がり線を描く。
マチとの合印(紫色の印)をつける。

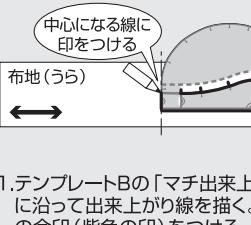


2.「ぬいしろライナー」で縫いしろ
線を描く。

A 表マチ・裏マチ

テンプレート

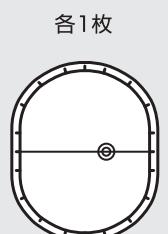
※表マチには
接着芯を
貼っておきます



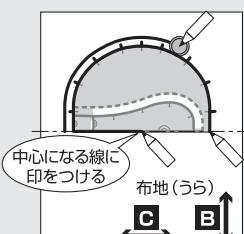
1.テンプレートBの「マチ出来上
に沿って出来上がり線を描く。
マチとの合印(紫色の印)をつける。

B 裏布**C** 表布・裏布

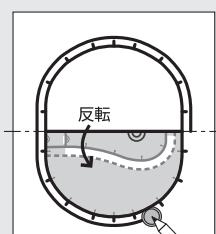
テンプレートBを使用



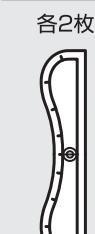
※表布には接着芯を
貼っておきます



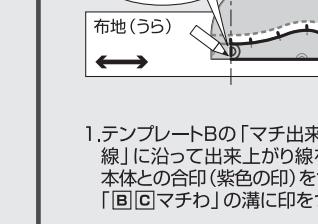
1.テンプレートBの「出来上がり線」に沿って出来
上がり線を描く。マチとの合印(紫色の印)をつ
ける。「ぬいしろライナー」で縫いしろ線を描く。



2.「B」「C」でテンプレートを反転
させ、1と同様に印をつける。

B 表マチ

テンプレート



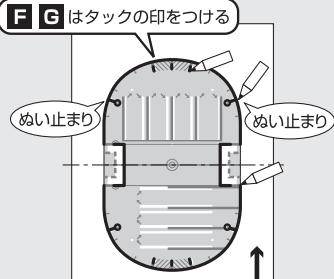
1.テンプレートBの「マチ出来上
に沿って出来上がり線を
描く。マチとの合印(紫色の印)を
「回回マチわ」の溝に印をつける。

D 表布・裏布**E** 表布

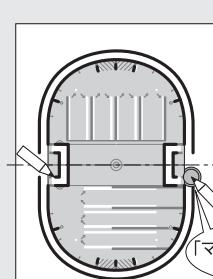
テンプレートAを使用



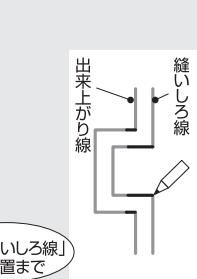
※表布には接着芯を
貼っておきます



1.「回E」「回マチ出来上上がり線」(黄
緑色の線)に沿ってマチの出来上
がり線を描く。上側、下側の出来上
がり線を、テンプレートの縁に沿って描く。
「ファスナーぬい止まり」に印をつける。



2.「マチぬいしろ線」(黄緑色
の点線)に沿って縫いしろ線
を描く。1で描いた出来上
がり線に沿って「ぬいしろライ
ナー」で縫いしろ線を描く。



3.テンプレートをはずし、
出来上がり線同士、縫
いしろ線同士をつなぐ。

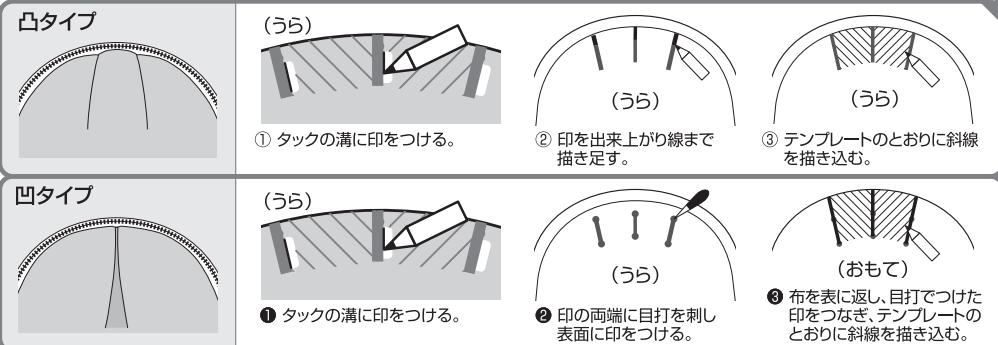
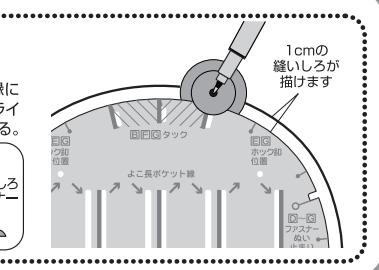
E 裏布

※接着芯を貼っておきます



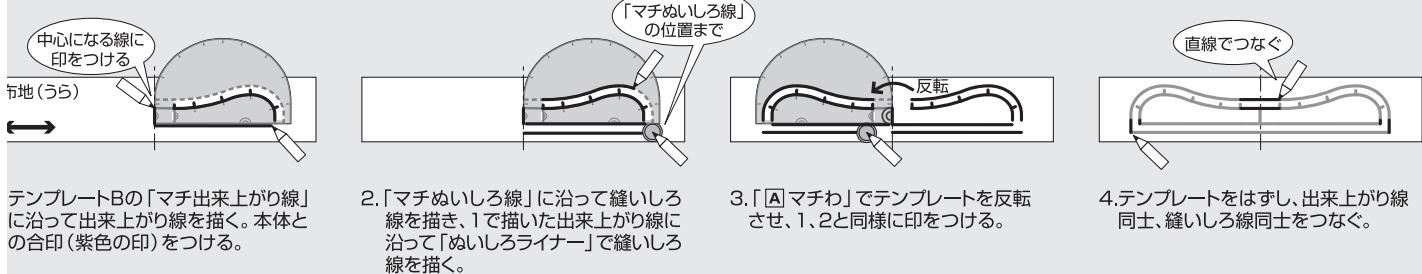
1.「E」「G」
る。(それ
ぞれ
り線を
沿つ

タックの印の描き方 (好みで凸・凹どちらかのタイプを選んでください) ※**F G**裏布は凹タイプでつくります
★タックの印を、布の表面・裏面どちらに描かで、仕上がりのタックの形が変わります



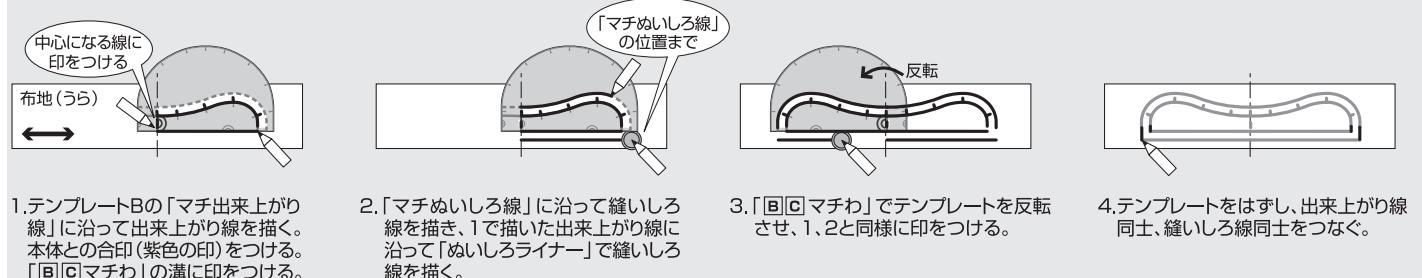
チ・裏マチ

テンプレートBを使用



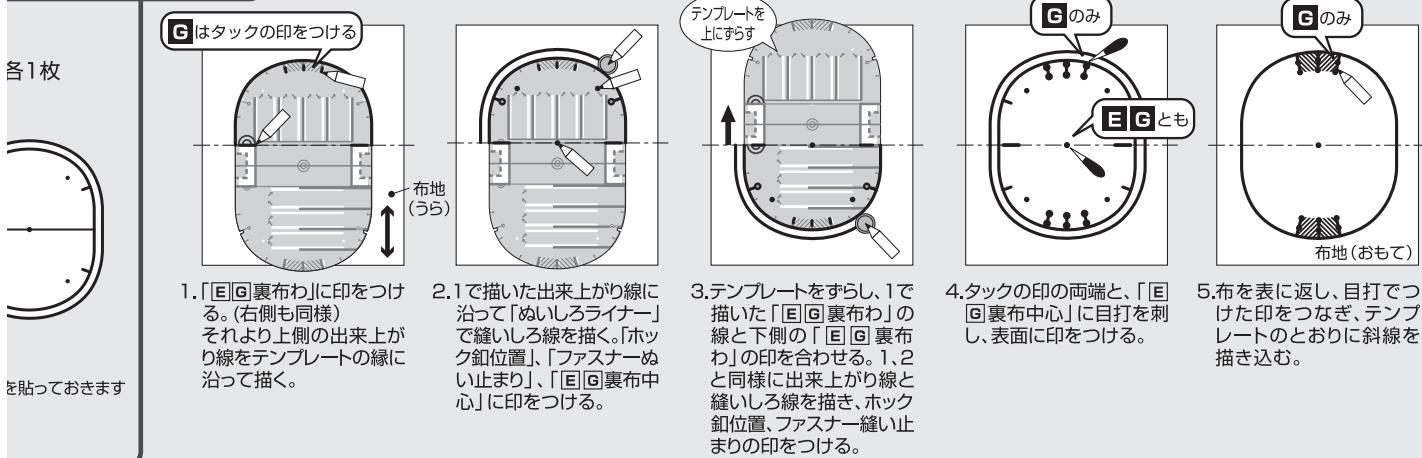
表マチ・裏マチ

テンプレートBを使用

**G**

裏布

テンプレートAを使用



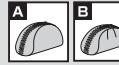
STEP
5

の作り方

★縫い始めと縫い終わりは、返し縫いをしてください



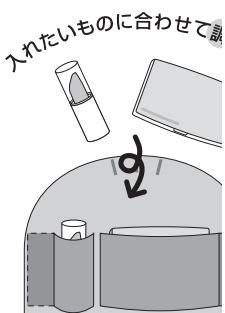
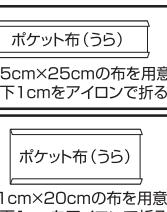
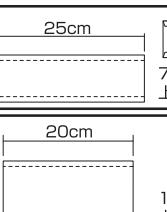
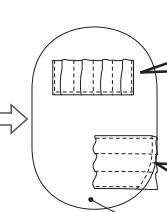
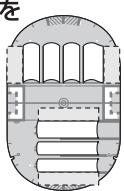
ポケットを付ける場合



ポケットを付けない場合

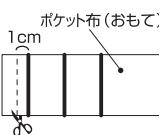
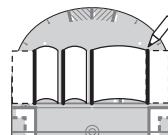
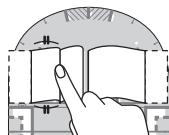
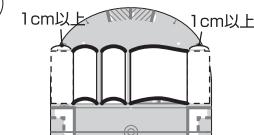
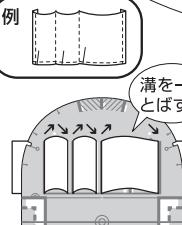
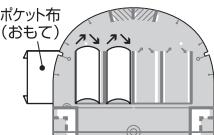
1. ポケットを作る

※□にはポケットを付けません。



よこ長ポケットの作り方

1 ポケット布に印をつける



①テンプレートAの「よこ長ポケット線」の左端の溝の下からポケット布を出し、作りたいポケットの幅に合わせて下向き矢印の溝に入れる。

②作りたいポケットの数だけ、ポケット布を上向き矢印の溝から出し、下向き矢印の溝に入れる作業を繰り返す。最後は右端の溝に入れる。

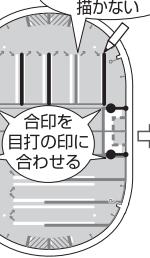
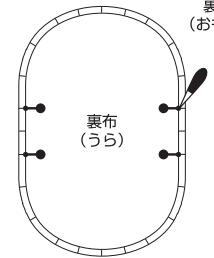
③入れたいものの大きさに合わせてたわみを作る。布の両端は縫いしろ分として1cm以上残しておく。

④ポケットの大きさを決めたら、たわみを右に向けて倒し、上下が同じ幅になるよう整える。

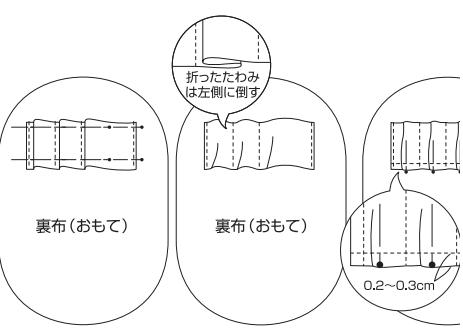
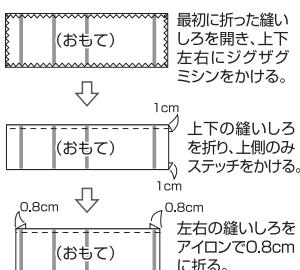
⑤「よこ長ポケット線」(オレンジの線)に沿ってポケット線を描く。

⑥ポケット布をテンプレー両端をポケット線から1cm裁断する。

2 裏布に印をつける



3 裏布にポケット布を縫い付ける



①合印4ヶ所に目打を刺し、裏布の表面に印をつける。

②裏布を表に返し、目打でつけた印にテンプレートAの合印を合わせて置く。ポケット布につけた線と同じ位置のポケット線を裏布の表面に描く。

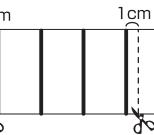
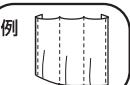
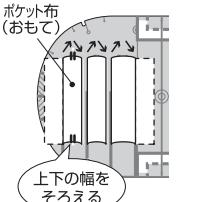
①ポケット布の端を始末する。

②ポケット布につけたポケット線と、裏布の表面につけたポケット線を合わせて待針で止める。ポケット線を縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

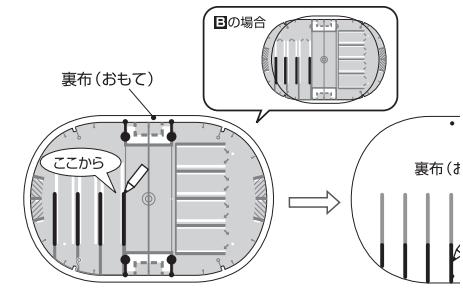
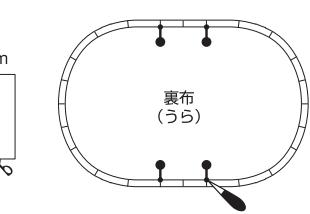
③たわみ部分の待針で止め、縫い終なった部分は返し縫いをする。

たて長ポケットの作り方

1 ポケット布に印をつける



2 裏布に印をつける



①テンプレートAの「たて長ポケット線」の溝に、よこ長ポケットの①～④と同じ手順でポケット布を通す。

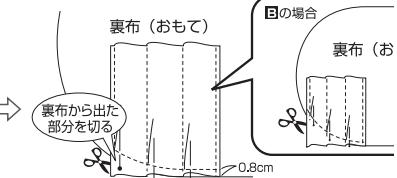
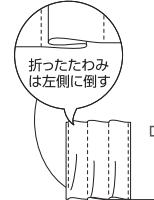
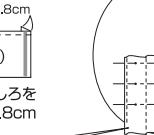
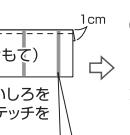
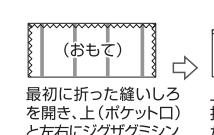
②「たて長ポケット線」の印がある溝に沿って、端から端まで線を描く。

③ポケット布をテンプレートから抜き、両端をポケット線から1cmのところで裁断する。

①合印4ヶ所に目打を刺し、裏布の表面に印をつける。

②裏布を表に返し、目打でつけた印にテンプレートAの合印を合わせて置く。ポケット布につけた線と同じ位置のポケット線「たて長ポケット線」(オレンジ線の部分のみ)に沿って描く。テンプレートをはずした後、布端まで線をつなぐ。

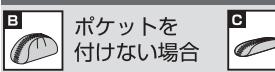
3 裏布にポケット布を縫い付ける



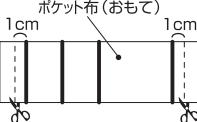
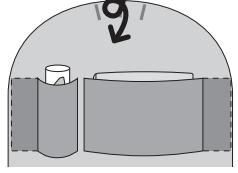
①ポケット布の端を始末する。

②ポケット布につけたポケット線と、裏布の表面につけたポケット線を合わせて待針で止める。ポケット線を縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

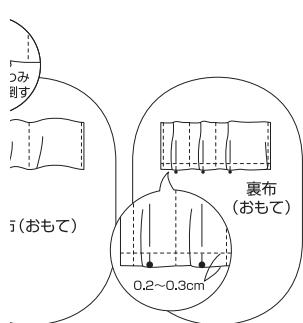
③たわみ部分の布を折って待針で止める。ポケット布の、裏布から部分を切り、ポケット底を布端から約0.8cmのところで縫う。縫い終わりと布の重なった部分は返し縫いをする。



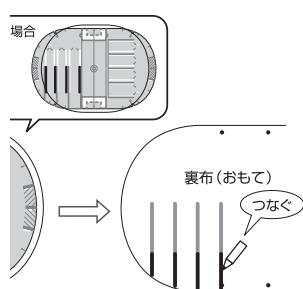
入れたいものに合わせて調節



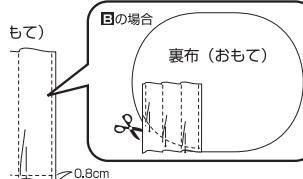
⑥ ポケット布をテンプレートから抜き、両端をポケット線から1cmのところで裁断する。



③ たわみ部分の布を折って待針で止め、ポケット底を縫う。縫い始め・縫い終わりと布の重なった部分は返し縫いをする。

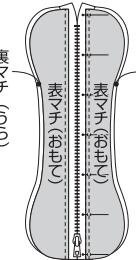
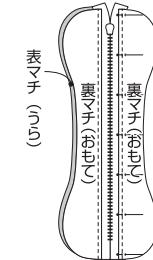
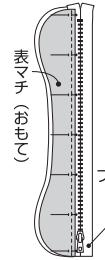
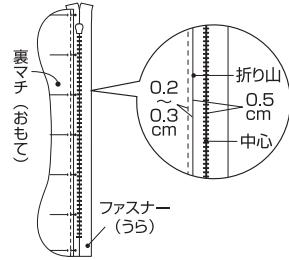
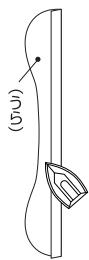


けた印にテンプレートAの合印をかけた線と同じ位置のポケット線を線の部分のみに沿って描く。端まで線をつなぐ。



しめる。ポケット布の、裏布からはみ出た0.8cmのところで縫う。縫い始め・縫いをします。

2. マチにファスナーを付ける



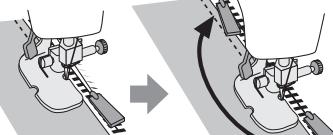
① 表マチ・裏マチとも袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏マチをファスナーの裏面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

② 表マチをファスナーの表面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

③ もう一方に、裏マチ・表マチを①②と同様の手順で合わせ、縫う。

基本のファスナーの縫い方

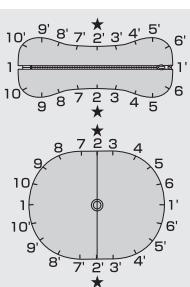
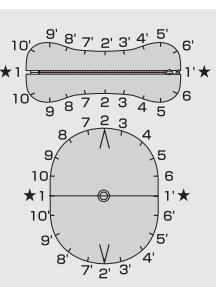
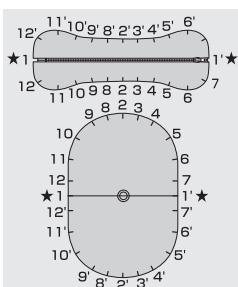
★ファスナー押さえがない場合は、普通の押さえ金をご使用ください。



1. 押さえ金をファスナー専用のものに替える。ファスナーを専用のものに替える。ファスナー

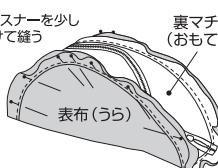
2. スライダーの近くまできたら針を落としたまま押さえ金を上げ、スライダーを針の後ろ側へ動かす。

3. 本体を縫い合わせる



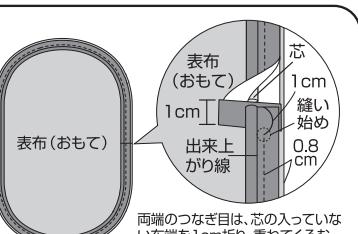
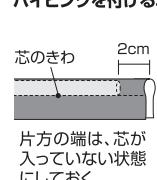
★は中心線の両端

※ファスナーを少し開けて縫う

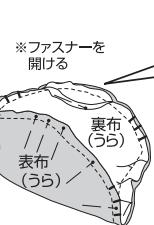


① 表布と表マチを中表にし、合印を合わせて表布・表マチ・裏マチ3枚一緒に、表布側から待針で止める。出来上がり線より0.1~0.2cm外側で縫い合わせる。縫い終えたらファスナーを開ける。

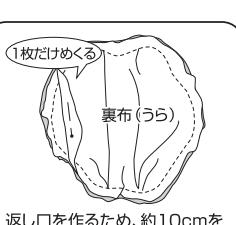
パイピングを付ける場合



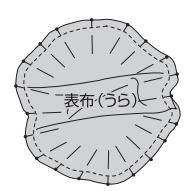
表布の出来上がり線とパイピングの芯のきわを合わせて、待針で止める。縫い始め(芯が端まで入っている方)は端を1cm残して縫い始める。布端から約0.8cmのところで縫い合わせる。



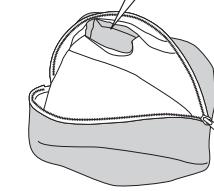
② 裏布と①を中表にし、合印を合わせて表布・表マチ・裏マチ・裏布を、4枚一緒に表布側から待針で止める。



返し口を作るため、約10cmを縫わないようにめくり、待針で止めておく。



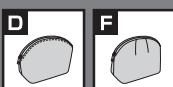
③ 表布側から、出来上がり線で縫う。



④ 反し口から表に返し、反し口をまつて閉じる。

完成

STEP 5



の作り方

★ 縫い始めと縫い終わりは、返し縫いをしてください。

1. 表布・裏布にファスナーを付ける

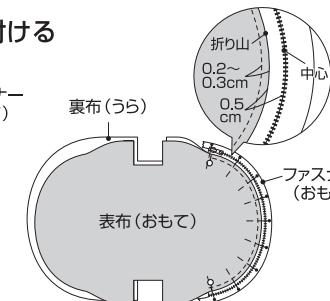
* 下記「基本のファスナーの縫い方」も参照

表布の袋口に
ステッチがある
縫い方です



① 裏布の表面とファスナーの裏面を合わせ、縫う。(出来上がり線をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。ファスナーの端を、ファスナーの裏側に折る。)

② 布を裏返し、縫いしろを①の縫い目で折り返す。



③ 表布の袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。(②に外表で合わせ、表布・ファスナー・裏布を縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

④ 裏布のもう一方の袋口を①とファスナーに合わせ、縫う。

表布の袋口に
ステッチがない
縫い方です



ファスナーを付ける前に
タックを作つておく

表布には凸・凹どちらかのタック、裏布には凹のタックを作る。

* 下記「タックの縫い方」参照

① 表布とファスナーを中表に合わせ、縫う。(出来上がり線をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。ファスナーの端を、ファスナーの裏側に折る。)

② 表布を縫わない
ようによけておく

③ 表布のもう一方の袋口を①と
ファスナーに合わせ、縫う。

④ 裏布のもう一方の袋口を①と
ファスナーに合わせ、縫う。

STEP 5



の作り方

★ 縫い始めと縫い終わりは、返し縫いをしてください。

2. 表布・裏布にファスナーを付ける

* 下記「基本のファスナーの縫い方」も参照

表布の袋口に
ステッチがある
縫い方です



① 表布・裏布とも袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏布をファスナーの表面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

② 裏布のホック釦位置に、
ホック釦を付ける。

③ 表布をファスナーの表面に合わ
せ、縫う。(折り山をファスナーの
中心から0.5cmの位置に合わせる。)

表布の袋口に
ステッチがない
縫い方です



ファスナーを付ける前に
タックを作つておく

表布には凸・凹どちらかのタック、裏布には凹のタックを作る。

* 下記「タックの縫い方」参照

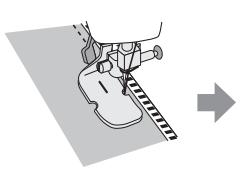
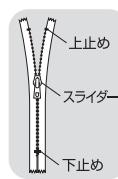
① 裏布の袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏布をファスナーの表面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

② 裏布のホック釦位置に、
ホック釦を付ける。

③ ②と表布を中表に合わせ、縫う。
(出来上がり線をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

基本のファスナーの縫い方

★ ファスナー押さえがない場合は、普通の押さえ金をご使用ください。



1. 押さえ金をファスナー専用のものに替える。
ファスナーを開けたままミシンで縫う。

2. スライダーの近くまできたら針を落とします。
押さえ金を上げ、スライダーを針の後ろ側へ動かす。

タックの縫い方

● 凸タイプの場合 ●

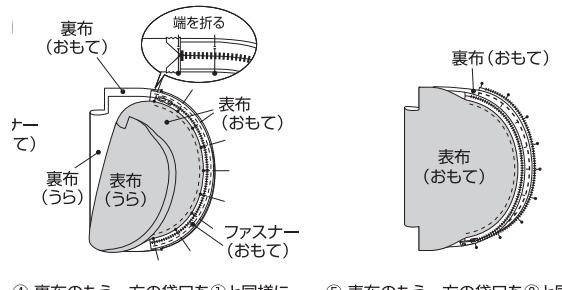
① 斜線がタック分量。a→b→aへひだをたたみ、
待針で仮止めする。

② 布端から0.8cmのところで縫う。

クロバー株式会社

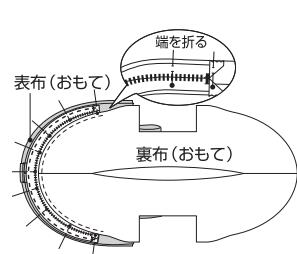
ポーチテンプレート シェル 作り方説明書 4面 / 左

サイズの大きい説明書は2枚にわけています。もう1枚の印と合わせてお使い下さい。



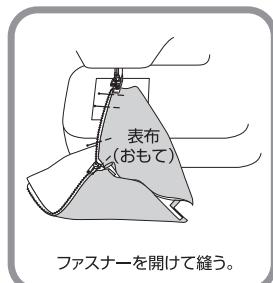
④ 裏布のもう一方の袋口を①と同様にファスナーに合わせ、縫う。

⑤ 表布のもう一方の袋口を③と同様にファスナーに合わせ、縫う。



③ 表布のもう一方の袋口を①と同様にファスナーに合わせ、縫う。

④ 裏布のもう一方の袋口を②と同様にファスナーに合わせ、縫う。



ファスナーを開けて縫う。

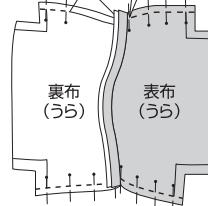
2. 脇とマチを縫う

★ Dを例に説明しています

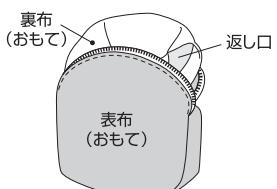
※ファスナーを少し開けて縫う

返し口 約4cm

袋口の出来上がり線で縫い止まる



① 中表の状態にし、表布同士・裏布同士で脇を縫う。裏布に返し口を残しておく。

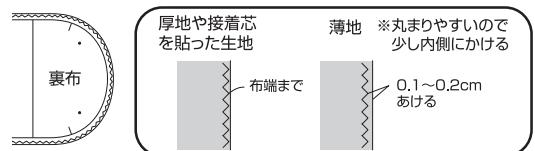


② 表布・裏布ともマチを縫う。

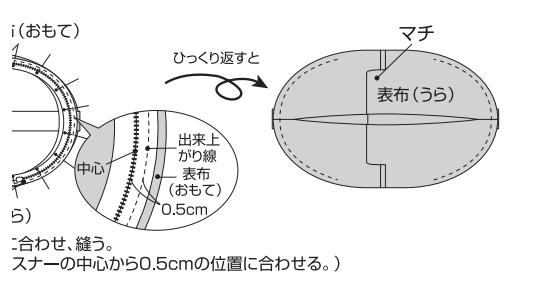
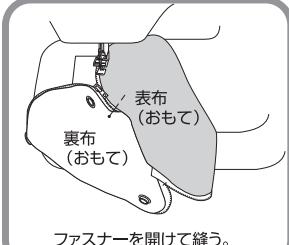


③ 収口から表に返し、収口をまつて閉じる。

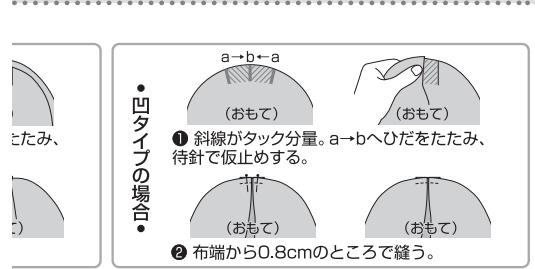
完成



④ もう一方も③と同様に縫う。



④ もう一方も③と同様に縫う。



たたみ

たたみ

たたみ

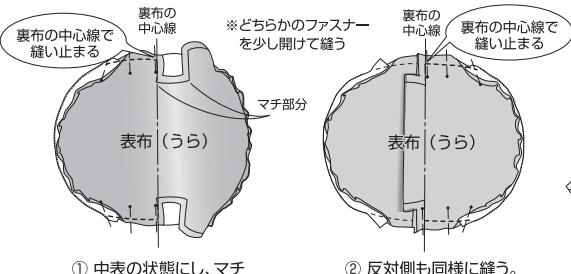
凹タイプの場合

① 斜線がタック分量。a→b←a
待針で仮止めする。

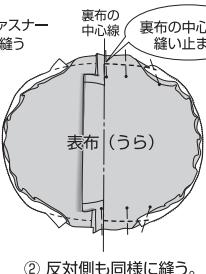
② 布端から0.8cmのところで縫う。

3. 脇とマチを縫う

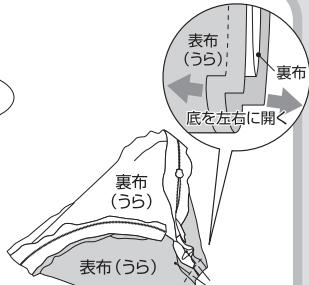
★ Eを例に説明しています



① 中表の状態にし、マチ部分を残して脇を縫う。



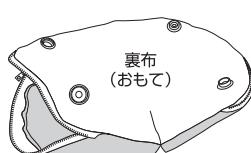
② 反対側も同様に縫う。



③ マチを縫う。

4. 中心を縫う

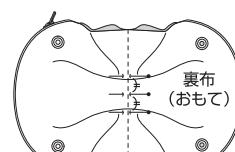
★ Eを例に説明しています



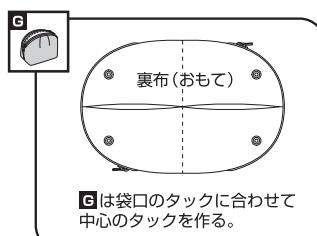
① ファスナー口から表に返す。



② 「回」裏布中心（目打でつけておいた印）を表布・裏布一緒に待針で止める。



③ 裏布のたわみでタックを作る。中心からの位置が均等になるようにタックをたたみ、待針で止め、中心線を縫う。



Gは袋口のタックに合わせて中心のタックを作る。

完成